

リアルタイム改善型エネルギー見える化ソフトの開発及び適合設計による計測機器システムの開発・実証事業の推進等

基盤技術分野 電子・デバイス、組み込みソフト等

川下産業分野 新・省エネルギー関連分野

川上・川下ネットワーク構築事業 平成19年度 新・省エネルギー関連産業(燃料電池等)に関わる川上・川下ネットワーク構築事業

新たな連携体制構築の背景及び経緯 スマートグリッド構築に向けたプロジェクトに位置づけ

近時のスマートグリッド構築に向けた市場創出、地域市場の活性化を見据えて、横浜市「横浜グリーンパレープロジェクト」のエネルギーモニタリング事業をベースに推進(「次世代エネルギー・社会システム実証 横浜スマートシティプロジェクト(YSCP)」にも位置

づけ)。当事業に参画していた見える化ソフト開発企業をコアに、計測システム企業や電気工事会社等が連携し実用普及に踏み出している。なおEV関連革新技術企業等も連携しカスタムEV開発中小企業連合を結成し、事業化にトライ中。

新たな連携体制構築の概要及び成果 エネルギー見える化ソフト、計測機器システムの開発及び実証事業の展開

リアルタイム改善型エネルギー見える化ソフトの開発と、適合設計による計測機器システムの開発
当事業に参画していたA社がPDCA改善型計測システムからリアルタイム見える化ソフトを開発。当地川下車両メーカーが製品化していた無線電力センサーシステムとの摺り合わせ・適合化作業を行い、受電盤・配電盤・コンセントの3層でのエネルギーモニタリングのできる新たな計測装置・システムを開発。

産業団地内集積企業での実証実験活用を通し更なる改善とコスト低減を目指している。

プロジェクト・コーディネータが帯同し、工場・事業所等を訪問、それぞれの設備環境、生産環境に適ったハード面、ソフト面の「摺り合わせ」を行い、最新の携帯情報端末も用いて、各設置現場でエネルギー使用状況をリアルタイムで見て取れるソフトを開発し、当製品に組み込んでいる。現在、当該団地内



企業60社程度、1000システム程度を目標に、新たな地域市場の創出を目指している。

〇レアアースレスSR回生モーターシステムをコアとしたカスタムEV開発・普及事業

次世代自動車に係るEVモーターベンチャーをコアに革新モーターシステム開発、超高性能インバーター、新素材等の中小企業が連合してカスタムEVの協働開発事業に取り組む中。

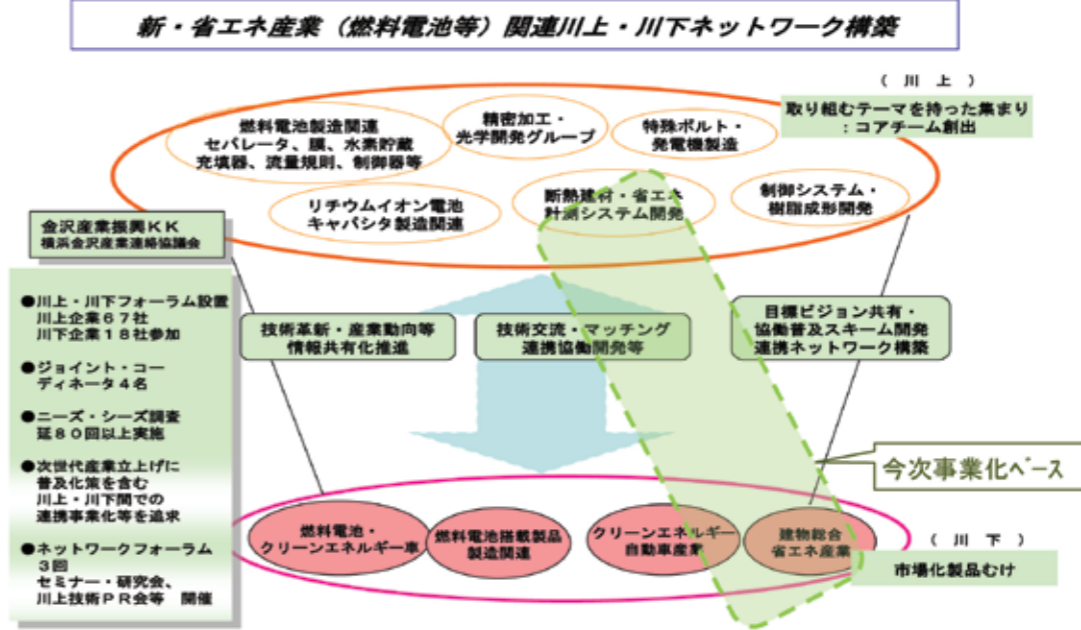
川上・川下ネットワーク構築事業の果たした成果・役割について

当事業を素地に参加企業が取り組む。コーディネータが継続的に活動

当事業の終了後、その活動を素地として、セミナー、説明会、中間成果発表会等に参加した川上企業を含めて「YGVエネルギーモニタリング事業」に取り組んできた。事業への参加要請、合意取り、企業の現場下見・設置工事、計測・見える化成果のフィードバック等、40事業所を各数回訪問。1社ずつ、工場・事業所毎での省エネ・省コストにむけた問題・課題等を洗い出し、ソフト(業務改善等)・ハードにわたる改善提案へと進めつつある。これらを通じ

て、実証事業へのより多くの企業参加を目指しているが、多部門にわたる幾多の引合い等も派生し、技術連携、事業連携の輪も生まれ出ている。

当該産業地域を数年かけて変えていくという大きな共通目標が設定されたことで、各企業への提案訪問等も非常にしやすくなった。それにより、各企業の稼働・営業状況、ニーズ情報等の収集をし、地域協働の事業案の提起と実施・推進等の幾多の波生的な成果をもたらしている。



ワンポイントアドバイス

「摺り合わせ」を重視、事業化に向けた「企業連携」の促進が肝要

販路・新市場開発を重視し、川上・川下企業間、川上中小企業間の「摺り合わせ」を行っていくことが重要。現場技術、開発技術を主体として、実際の機器設置、仕様決定、価格等をコーディネートすること

がポイント。こうして、事業化に向けた川上中小企業間による「企業連携」を促進、支援していくことが肝要である。

Table with contact information for 金沢産業振興株式会社, including address, phone, fax, and email.

V. 新たな連携体制構築に成功した事例